

令和7年度第1回 浜田市総合振興計画審議会 会議録

日時 令和7年7月31日(木)
午後6時30分～午後7時38分
場所 浜田市役所本庁舎 4階講堂

[進行/会長]

◆ 開会	
地域政策部長	<p>それでは、定刻になりましたので只今から令和7年度第1回浜田市総合振興計画審議会を開催いたします。</p> <p>本日は皆さまご多忙のところご出席いただきまして誠にありがとうございます。私は、本日進行いたします浜田市地域政策部長の田中と申します。よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは開会にあたりまして当審議会会長の林会長からご挨拶をいただきたいと思っております。</p>
会長あいさつ	
会長	<p>今年度第1回の浜田市総合振興計画審議会の開催にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。審議会委員の皆様には大変暑い中、またお忙しい中ご出席賜りありがとうございます。審議会委員の皆様におかれましては、市の重要な計画であります浜田市総合振興計画、浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略、そして定住自立圏共生ビジョンの策定から関わっていただき、進捗状況につきましてもご審議いただいているところでございます。</p> <p>本日の審議会では、令和3年度に作成しました後期基本計画の3年度目となります令和6年度の進捗状況についてご審議いただくこととしております。後期基本計画では、7つの大綱に沿った具体的な施策に取り組むこととしておりますが、残念ながら、人口推計を上回るスピードで人口減少が進んでいる状況です。浜田市におかれましては、引き続き人口減少対策を最重要課題として掲げ、令和5年度に創設された若者支援ファンド事業等により、特に若者の人口減少に重点を置いた施策に取り組んでいただいているところでございます。</p> <p>また、本年10月に浜田市長選挙、市議会議員選挙を控えているので、次期市長及び市議会議員の皆様のご意向を反映するため、昨年12月に現計画の計画期間延長を行うことについてご了承をいただいたところでございます。本日は、取組状況や今後の取組に対して忌憚のないご意見を頂戴したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
地域政策部長	<p>会長ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の会議の出席状況と配布資料の確認をさせていただきます。初めに委員の変更がございますので、ご紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田市PTA連合会会長 菊田 洋志 様 ・三隅地域協議会委員 永井 伸次 様(欠席) <p>時間の都合上、引き続きの委員の皆様におかれましては、事前にお配りしております名簿で紹介に代えさせていただきます。</p> <p>先ほど会長からのご挨拶にもございましたが、計画期間の延長に伴いまして、委員の任期を1年延長させていただいております。皆様の机には委嘱状を置かせていただいておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。</p>

	<p>任期は令和 8 年 3 月 31 日までとなっておりますのでどうぞよろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、本日の出席状況ですが、出席委員は 16 名、欠席委員は 7 名となりまして、審議会条例で定めております浜田市総合振興計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定により、定足数が過半数となっておりますので、成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前に事務局の方から資料をお送りさせていただきましたが、皆さま、ご持参いただきましたでしょうか。</p> <p>また、一昨年度から実施しております会議の録画と限定での配信につきまして、本日も実施させていただいておりますので、ご承知おきください。</p> <p>それでは、これより議事に移ります。議事の進行につきましては、林会長にお願いいたします。</p>
(1) 総合振興計画、定住自立圏共生ビジョンの進捗管理体制について	
会長	<p>本審議会は、総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理について審議することとしております。</p> <p>本日は、後期基本計画そして定住自立圏共生ビジョンの 3 年度目となります令和 6 年度の進捗状況についてご意見を伺うこととしております。</p> <p>終了予定時刻は午後 8 時 00 分を予定としておりますが、委員の皆様の忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、議事を進めてまいります。</p> <p>まず、議題 (1) の「総合振興計画、定住自立圏共生ビジョンの進捗管理体制について」、事務局から説明をお願いします。</p>
地域政策部長	<p>〔資料 1〕に沿って説明]</p> <p>この審議会で出ました意見をもって議会の報告を行う予定ですが、併せて、計画期間の延長も正式に議会に上程することになります。</p> <p>議会等、各方面からご意見をいただきまして、最終的にまとめたものについて、審議会委員の皆様にお送りすることとしております。</p>
会長	<p>説明ありがとうございます。委員の皆様からご質問がありましたらお願ひします。</p> <p>〔質疑なし〕</p>
(2) 第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗管理方法について	
会長	<p>議題 (2) の「第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗管理方法について」事務局から説明をお願いします。</p>
地域政策部長	<p>〔資料 2〕に沿って説明]</p> <p>資料 2 は、総合振興計画後期基本計画の進捗をどのように行うのか、その方法についてまとめたものになります。</p> <p>資料 1 ページでは、先ほども触れました計画期間の延長について改めて整理して記載しております。こちらについては以前説明している内容ですので、説明については省略をさせていただきます。</p> <p>達成率をもとに、表がございますが、ABC で評価を表すこととしております。基本としましては、100% 以上の達成率のものを A 評価、それから 50% 以上</p>

	<p>のものをB評価、それ以下のものをC評価というふうに評価を表すこととしております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。只今、ご説明いただきましたが、委員の皆様からご意見、ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>〔質疑なし〕</p> <p>後期基本計画の進捗評価の基準等について、このとおりに進めていくものとし ます。</p>
<p>(3) 第2次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗評価について (4) 第2次浜田市総合振興計画後期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について</p>	
<p>会長</p>	<p>続きまして、議題(3)の「第2次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗評価について」及び議題(4)の「第2次浜田市総合振興計画後期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について」につきましては、内容が関連いたしますので、一括で説明をしていただき、皆様からのご意見、ご質問につきましては、議題ごとにお伺いしたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>それでは、事務局から一括して説明をお願いします。</p>
<p>地域政策部長</p>	<p>ここからが、今年度の評価に当たるものでございます。</p> <p>〔資料3及び参考資料〕に沿って説明〕</p> <p>参考資料として、別冊の資料、「浜田市の人口における社会増減の状況」という資料がありますが、計画策定時の平成28年度から昨年令和6年度までの、9年間の推移を掲載しております。ただしこちらは、4月から3月の年度ごとの集計ではなく、島根県の調査に合わせました、1月から12月という年ごとのデータとなっております。若干その数字が異なる場合がございますので、あくまで傾向を知るものということでご了承いただければと思います。</p> <p>社会増減数については、令和5年度と比較して若干改善は見られたものの、出生や死亡による自然増減につきましては、第2次総合振興計画がスタートした平成28年度から過去9年間で、一番大きな減少でした。</p> <p>令和6年度の出生数ですが、3年連続して減少ということになりました。こちらも、過去9年間では最少の数値となっております。引き続き、若者や、子育て世代の出会い、結婚、出産、子育てを支援し、少子化対策にも取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>令和6年度の社会増減数につきましては、転勤や就職などによる転出が減少して、令和5年度と比較して改善を見せたものではございますが、転入数が減少していることなどにより、目標値である286人減を下回る322人の減となりました。引き続き、若者世代の流出を抑えるような、若者支援ファンドといった事業の取組や、移住定住施策の充実などの取組を進めて、人口社会減の緩和を図っていくことが重要と考えております。</p> <p>〔資料3〕の4ページには施策の目標の達成状況を載せております。</p> <p>達成状況AとBを合わせた約90%が順調、或いは一定の進捗があるというような結果となっております。</p> <p>一方で、全国的な流れとして、人口や、出生数などは、先ほど申し上げましたように減少が進んでおります。今後、次期総合振興計画の策定に向け、少子</p>

	<p>化や高齢化、人口減少、そういったものは当面継続するということを前提として、持続可能なまちづくりを目指すには何に取り組むべきか、従来ない発想で取り組む必要があるものと考えております。</p> <p>よって、次期計画の策定時には、目標設定のあり方につきましても、そうした大幅な見直しを検討して参りたいと考えております。</p> <p>具体的な取組の状況については資料4以降で説明をさせていただきます。</p>
企画係長	<p>政策企画課の石津です。ここからは私が資料4から資料7を説明させていただきます。</p> <p>〔資料4～7〕について説明</p> <p>資料6については、資料5から抜粋した項目になります。</p> <p>資料7については、最終年度の目標に対して昨年度の実績がすでに上回っているものについて、各担当部署で目標の設定の見直しをご検討いただいております。下段のところに過去の報告値の誤りがございましたので、こちらで報告し、訂正をさせていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>それでは、まず議題(3)の「第2次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗評価について」、ご質問やご意見をお伺いします。</p> <p>資料で言いますと資料3になります。</p> <p>ご質問やご意見があればお願いします。</p> <p>〔質疑なし〕</p> <p>事務局にお尋ねしたいのですが、資料3の内容は、どのような形で公表されるのかというところをちょっと教えていただければと思います。</p>
地域政策部長	<p>本日の会議は、基本的にすべて公表されます。市のホームページ上で、この資料もあわせて報告をいたしますし、市議会の方にも報告をいたします。</p> <p>最終的に確定したのものも、また改めてお送りしますが、この内容はすべて公開されるものです。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にありますか。</p>
佐々木委員	<p>人口減少のスピードがすごいなと驚いています。人口推計の、例えば向こう10年とか30年スパンの浜田市の見通しみたいな、そういう情報というのは今後、抽象的なところで何か検討されているのかなというところを伺いたかったのですがいかがでしょうか。</p>
地域政策部長	<p>計画の策定時に人口のシミュレーションを行っており、人口ビジョンをまとめますが、今後、令和9年度からの計画策定を進めていくこととなりますので、その中で改めてシミュレーションを進めるという予定にしております。</p> <p>ちなみに、現計画で以前シミュレーションをしたところでは、2060年度のところすでに30,000人を切るようなものになっておりますので、当時のシミュレーションよりも現行はさらに下回っているということを考えますと、今後、新たにシミュレーションを行った場合には、なかなか厳しい数字が出てくるのではないかと考えられます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にありますか。</p> <p>次の総合振興計画の作成のことがすでに記載されておまして、これまでは人口減少を抑制し、人口を確保するというところを強く意識した形で様々な計</p>

	<p>画が作られてきていますが、ちょっとそれだけではいけないという意識が示されているかというふうに思います。</p> <p>まだ現行の計画の計画期間ではございますが、次の計画に向けて、皆様のご意見があれば参考になるのではと思います。何かこの場でご発言がありましたらお願いいたします。</p> <p>〔意見なし〕</p> <p>特にないようですので先に進めさせていただきますが、議題(4)第2次浜田市総合振興計画後期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況についてです。</p> <p>これについてご意見をいただきたいところではございますが、事前にご質問をいただいているように聞いておりますので、ご紹介いただければと思います。</p>
企画係長	<p>1点、ご質問を頂戴しておりますので、全文を読み上げさせていただきたいと 思います。資料7をご覧ください。読み上げます。</p> <p>「資料7、代表的な目標の見直しについて。114、U I ターン相談件数増加、 120、関係人口による応援活動件数の増加。</p> <p>それぞれ過去の実績に基づき、上方修正するとありますが、直近3ヵ年の実 績よりも、より見直し後の目標がかなり小さいと感じられるのですが、この 目標設定の根拠を教えてください。」</p> <p>こういったご意見をいただいております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。これについてご回答お願いします。</p>
地域政策部長	<p>はじめに、114番のU I ターンの相談ケースの増加についてです。こちらにつ いては、見直し前が最初に各年度目標がございまして、中央のところには昨年 までの3年間の実績と、それから右端のところに見直し案を出しております。 この1つ上に「インターネットの加入件数の増加」というものもございまして、 これは毎年積み上がっていく計画ですので、直近の実績がすでに目標を超えて いるという場合には、さらにそれを上回るような目標に見直しておりますが、 このU I ターンの相談件数の増加というのは単年ごとの数字を上げていくもの であり、大きく上下する可能性がございまして。</p> <p>そのため、こちらについては、大きく見直すのは次期の計画策定時というふ うにしており、今回はあくまで計画延長に合わせて実績をもとに微増させた というところがございます。</p> <p>それから120番の関係人口によります応援活動件数の増加です。浜田応援団 の活動の増加について、毎年10件という目標を、見直し後は12件に見直して おります。これについて、昨年度の6年度の実績が19件となりましたので、こ れに対して少ないのではないかということかと思っております。</p> <p>この19件ですが、実はこのうちの7件というのが、浜田応援団の方が代表を 務める事業所の事業活動を兼ねて、島根フェアというようなイベントとか、そ れから市役所の方で物販を行っていただいたというようなものでございませ ん、実は、この事業所の活動というのが今後のところが未定でございませ ん。そのためそれを除く12件、それがすでにこれまでの目標10件を上回って おりますので、その12件という目標に設定したというところなんです。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>

	<p>事前に説明を受けた際には気がつかなかったので教えていただきたいのですが、資料5の15ページ、開かれた行財政運営の推進の155番の目標がございますが、これはABCでは示されておりませんが、どういうふうに評価され、埋めてもらうのでしょうか。</p>
企画係長	<p>説明を割愛してしまいすみません。資料の4の1ページ、一番下段に、進捗評価対象外項目として載せております。開かれた行政行財政運営の推進を対象外とした理由としましては、実質公債費比率、こちらがまだ確定をしていないということがございます。今はエラーの文字が出ていますが、数字が公表され次第、こちらについては評価を行うこととしております。</p> <p>議会等には数字や評価が入った状態でご報告、公表させていただこうと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>もうひとつちょっと分かりにくいところがあるのが、資料5の23～24ページ、目標番号12番の、「有機野菜栽培面積の拡大」というところです。目標値を見直したようですが、グラフの見方とか、なかなか分かりにくいところがございますので、説明していただければと思います。</p>
産業経済部参事	<p>資料5、24ページのところのグラフだと思います。有機野菜栽培面積の拡大ということで、毎年2.2ヘクタールずつ面積を拡大していくというような計画に上方修正をさせていただいたところではありますが、令和3年度、4年度において、大規模な有機野菜農家さんの撤退等があったため、当初の計画を大きく下回る実績となっておりますが、令和5年度から6年度のところにつきましては、実際には2.5ヘクタールぐらい有機野菜面積が増加しております。</p> <p>過去の累積を出させてもらっているため、令和3年度、4年度のマイナスのところの影響して、この表上は大きく下回っているという結果となっております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。私から細かいところをお聞きしましたが、皆さんからはいかがでしょうか。</p>
佐々木委員	<p>また人口関係のことになるのですが、資料3の参考資料の方に、すぐは難しいかもしれませんが、例えば生産年齢人口の過去10年の推移とか、何かここでつけたりすることは難しいですか。結構、経済の中心はその世代だと思っていて、そこがやはりその町の稼ぎを生み出すところから、そういった人口がどれぐらいの勢いで減っているのかなというのはちょっと気になるのですが、そういったことをご検討いただくことはいかがでしょうか。</p>
地域政策部長	<p>ありがとうございます。</p> <p>実は計画策定をしたときの成果品、計画本体には先ほど申しました人口推計したものがございまして、その中には、今おっしゃいますような人口のピラミッドとか、年代別に分けたもの、生産年齢人口など分析したものがございます。各部門の進捗の評価のときには、そこまで今掲載をしていないところです。人口移動などを中心に掲載しておりますけれども、今後そういった部分を、できれば、充実させていければと思っておりますので、対応していきたいと思っております。</p>
会長	<p>年度年度の評価になれば、その年度どうだったのか、特に前年度と比較をして議論する傾向になりますが、やはり、中長期的な視野を持ちながら、特に次期計画を作成する時期になっていきますので、そういう視点が必要なのかなというふうに思っておりますので、ここに盛り込むかどうかは別として、できるだ</p>

	<p>けそういう視点で今後見ていっていただければというふうに思います。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>また私から細かいところになりますが、進捗評価としては厳しい評価になっている、例えば資料5の20～21ページの「新規どんちっちブランド加盟業者数の増加」についてお尋ねします。多分、いろんな当初考えていた状況と違ってうまくいかなかったということがあるのでとはと推察するのですが、そもそも目標設定が適当だったのかというか、評価が芳しくないことが駄目だという意味ではなくて、何かその原因を分析する必要があるかなと思います。どんな感じで、どのような要因でこういうふうになったのか教えていただければと思います。</p>
産業経済部参事	<p>ここの目標設定につきましては、その目標設定時までの加盟店の増加等を見ながら設定をさせていただいたところですが、目標設定後、同じような形で加盟店を増加させるに至っていないということで、加盟店の増加についてはちょっと鈍化をしているというか、なかなか増えていない状況です。</p> <p>今、水産業の振興につきましては、どんちっちブランドそのものもですが、浜田四季のお魚といった新たなブランドとか、そういった新しい展開も行っており、そういったことで水産業全体の振興というところを図っております。この加盟店の増加というところは、取り組んでいますなかなか思ったようにいかないという状況にあったということです。</p>
会長	<p>ありがとうございます。これだけ槍玉に上げたようで恐縮ですが、これだけではなく、多分いろんな理由で困難な状況にある目標があると思われま。そういうときに、なぜそうなのかと分析して、これから目標設定とか、様々な取組をどうしていったらいいかの参考になさったらよいかと思います。</p> <p>他にございませんか。</p>
田中委員	<p>人口の定住には、産業の育成が大切だと思いますが、この資料5の1ページ目の「活力のある産業を育て雇用をつくるまち」のところ、まだ統計には出ていない新しい話ですが、底びき業者が1団減りましたよね。それと若い方の、漁業研修生の増加というところ、当然ここは少ないからC評価になっています。ここら辺のてこ入れをしないと、また後のところも、船が古くなるせいもあるけれども、要は漁船員がいなくてやめていく、漁船に乗ってくれる方がいないというようなことをよく聞きます。そういったことで、そこら辺のてこ入れが必要ではないかと思います。</p> <p>それと、この度アジフライの会社が出てくるというようなこともありますし、陸上の養殖の調査をやっておられるというようなことがありますので、船に乗らなくても魚が取れるようなことになると非常によいことだと期待していますが、とにかく漁師さんを増やす政策、そこら辺をどこかへ盛り込んでいただきたいと思います。</p>
産業経済部参事	<p>まずは、沖合底びき網の4ヶ統ということで、ご指摘のように、今年の5月で1ヶ統が操業を止められました。今回は令和6年度の実績ということで4ヶ統のままですが、今のままでいけば、令和7年度の実績においては3ヶ統ということになるかと思っています。これまでも、まき網漁船団もですが浜田への誘致という活動についてもやっており、これについては継続してやっていく必要があるかと思っていますし、今回やめられた底びきについても、新船建造への支援の打診であったり、そういった維持についての活動を行ってきたわ</p>

	<p>けですが、残念ながら廃止ということになってしまいました。</p> <p>引き続き、沖合底びき、それからまき網漁船の誘致にはしっかり取り組んでいきたいと思っておりますし、先ほどお話にありました、新しくアジフライ工場の進出について今、進めさせていただいておりますけども、そういった陸上機能の強化によって、こういった船団が浜田漁港に入っていく可能性は高まるかと思っておりますので、引き続きそういった活動をしていきたいと思っています。</p> <p>また、新規の漁業者の獲得については、言われる通り、しっかり取り組んでいかなければならないと思っています。今、若者ファンドを使ってこの新規業者さんへの支援策も少し拡充させてもらっているところですが、それでもなかなか獲得できていないというような状況ですので、またここについては、引き続き、しっかり取り組んでいかなければならないところだと思っています。</p>
会長	ありがとうございました。他にございませんか。
岡山委員	<p>資料5の88ページの101番の目標、「防災防犯メール等登録者の増加」とありますが、これ数字的には伸びているというところですが、実感として、入っている方、比較的若い方は登録されているイメージがありますが、高齢の方がなかなか馴染みがなかったり、防災無線があるから必要ないかなと言われる方もいらっしゃると思います。この計画の中で、目標94番「デジタル活用基礎講座開催数の増加」というのがあります、まちづくりセンター等でスマートフォン講座とかをされていると思いますが、そういった先で、この防災防犯メール登録を促すようなことは行われているのか伺いたいです。</p>
総務部長	<p>防災防犯メールについて、高齢者の方はなかなか登録しにくいということがあるかと思えます。今おっしゃったまちづくりセンターでのスマートフォン講座もありますが、それ以外のところでも、103番の目標にあります防災出前講座で、地域にかなり出向いています。年間160回ぐらいになりますが、その中には地域の高齢者の方もいらっしゃるのでも、そういったところでもしっかり登録してくださいとお願いしています。ご指摘をいただきましたスマートフォン講座は高齢者を対象としていますので、そこでもしっかり対応していきたいと思えます。</p> <p>当然、無線で聞いていただくことも1つの指標ではありますが、すべての地域で聞こえるわけではないですし、夜とか雨とかで非常に聞こえにくい場合もあります。そのためこういったメールの部分は大変大切ですので、しっかり力を入れて取り組むべきであると思っています。</p>
岡山委員	<p>旭の地域協議会のときにお話を聞いていると、やはり安全安心のためには、情報が入ってくること、災害に対してもそうですが、普段の情報が入ってくることが大事だとおっしゃる委員の方がおられて、ではこの中で防災防犯メールに入っておられる方は手を挙げてくださいますと尋ねたところ、手を挙げられたのは半分ぐらいでした。やはり、世代によって、または得手不得手によって、なかなかメールを使えなかったり、アプリを使えなかったりする方がいらっしゃると思いますが、そういった方たちにも、防災無線だけに頼らずに、手元に情報が届くようにしていかないといけないと思います。災害に強いまちづくりとか、安心して暮らせるまちづくりとかと情報化の推進とは、本当にクロスしているのだなというふうに感じたので、ぜひ出前講座等を細かくやっていただいて、皆さんに情報がきちんと届くような体制を作っていただきたいなと思いま</p>

	す。
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>改めて確認をいたしますが、(3)第2次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗評価についてと(4)第2次浜田市総合振興計画後期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について、これでお認めいただいたということによろしいでしょうか。</p> <p>〔異議なし〕</p> <p>ご異議がないようですので、今後、議会報告等あるようですので、そのような過程で修正等もあるかもしれませんが、確定した後に、資料を後日送付いただくということで、その際ご確認いただくということによろしいでしょうか。</p> <p>〔異議なし〕</p> <p>そのようによろしく願いいたします。</p>
その他	
会長	<p>予定よりは早いですが、その他の方に進めさせていただきます。事務局からご説明をいただければと思います。</p>
企画係長	<p>事務連絡になりますけれども、本日皆様の机の上に移動手段等確認書という紙を配らせていただいております。出発地等についてご記載いただきまして、机の上に置いて帰っていただきますようお願いいたします。</p>
会長	<p>本日の予定としては以上となります。今一度、皆さんから何かございましたらお願いいたします。</p>
杉野本委員	<p>ちょっとタイミングが悪いかもしれませんが、最初に会長さんが投げかけられた人口減に対しての、次期の目標設定なり、そういうところでの、資料3にあるような「持続可能なまちづくりを目指すには何をすべきか従来の発想で取り組む必要があります」というところ、ここは大事なところだなと思いました。日本全体で人口が減っている中で、今若者も減ってきている、少子高齢化も進んでいくという中で、増やすにはどうするかというところを皆さん考えておられると思いますが、国内で増やすということになれば、それなりの、浜田なら他にないこれがあるぞ、というものがやはり必要になってくると思います。それが、例えばどこよりも、学校はすごく他にない設備があるぞという売りでもいいでしょうし、ここに行けば日本一神楽がすごいものがあるよという売りでもいいでしょうし、国内のものを集めるということ。</p> <p>それからもう1つ、転出入の内訳を見ると、去年も言ったと思いますが、転入は家族同伴ではなくて、転出の方は家族同伴でということが見えてきます。ということは、同伴者の女性の方が社会減が多いということは、それだけ女性にとって魅力のない、夫が仕事に来て私がついていかないよ、逆に、夫の仕事が終わったから私も一緒に帰るわというようなまちであると。そこで女性にとって魅力あるまちを目指して、そういう社会減を何とか食い止めていく方法でいくのか、或いはもう、どこも人を集めようと言っている中で、少ないんだから、国内いくつかのところでも国外からの人口増をするという方法、それによって働き手を増やすことを目指しているところもあります。</p>

	<p>浜田が今後何を指していくべきなのかというところは、やはり今後議論されたり、これがベストだというのは、分かっていない者が言っても仕方ないので、いろんな先進地だとかを参考にしながら、ここ1、2年のことを言ってもしょうがないと思いますので、10年、20年先の浜田がどんな状況であるか見通しながら、イメージしながら、どういったところに力を入れていくべきか。</p> <p>多分ふるさと納税も、だいぶ積立金も増えてきておりますので、ここで、このタイミングで使おうという感じがやっぱりあるのではないかと。そういった財源的な裏付けも含めて、何か考えていく。しっかり研究しておられる市のスタッフの方、いろんなところからの意見を聞きながら作っていくことが大事なことだろうというふうに、私自身の意見としてはそんなことしか言えませんが、何か一緒に考えていけたらなと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。浜田市の将来を今一度描いて、そこにどのように政策を組み立てていくかという問題なのかなというふうに思っております。ちょっと大きな問題ですので、副市長、これにお答えいただく形でコメントいただければと思います。</p>
◆ 閉会	
副市長	<p>長時間にわたりましていろいろ貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。</p> <p>まず個別のお話をさせていただくと、先ほどの農林水産業の関係。浜田市の基幹産業であります。水産について底びき4ヶ統が3ヶ統になりました。ただ一方で、2ヶ統が新船を作られました。これ1ヶ統作るのが10数億円かかるということです。新船になると何がいいかというと、水揚げが上がるのと、居住環境が良くなるということで、若い船員さんを確保するのに、2段ベッドとかで寝るのではなくて、個室があったり、すべてが個室かどうかわからないですが、そういう、やはり底びきは長期にわたるので、船での居住環境を良くするというのも重要だということで、今回2ヶ統が新船を作られました。もう1ヶ統も検討していただくということで、何とかそういうことで、少しでも若い人に、せっかく水産高校もあるので、地元の水産高校の方が地元で就業していただけるように取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>それから防災の関係です。昨日カムチャツカ半島で大きな地震、津波があったということでいろんな媒体でその情報が伝達されていまして。ケーブルテレビもありますし、先ほどありましたように、いろんな手段をしっかりと使って、情報が届かないということがないように努力していきたいと思っています。</p> <p>それから、最後に一番大きな人口減少、少子化対策です。これ本当にもう全国どこの自治体でも問題で、国の問題でもあります。日本自体が少子化になっており、若い人、出生数が減っています。逆に海外では人口が増えているという状況になっていると思います。</p> <p>浜田市の人口減少対策、少子化対策をどのようにするかということ、現段階ではやはり若い方、若い女性にターゲットを当てるとということで、先ほどありましたように、若者ファンドということで若い方に対して重点的に力を入れています。</p> <p>特に若い女性をターゲットにということになると、これは1つの事例ですが、美又温泉日帰り入浴施設を来年12月にオープンする予定ですが、これはもう完全に若い女性をターゲットにした施設整備を考えております。これは定住には</p>

	<p>繋がりませんが、関係人口や交流人口に繋がっていくと思っております。そういう面で、次期、新しい総合振興計画を作るにあたりましては、また今のような、皆さんのご意見を参考にさせていただいて、少しでも若者、大体高校卒業されると、地元で3割ぐらいしか残られない。就職・進学で出られて、その方々が帰ってこられない。それは、働く場がないとか、いろんな問題があると思います。</p> <p>先ほど杉野本委員からありましたが、転入のときは単身が多くて、転出は世帯で出ることが多い。これは俗に言う教育環境とか、医療環境、福祉環境のことをよく言われております。そういう面にも力を入れながらやっていかなければいけない。</p> <p>すべてをやることはなかなか難しいと思っております。どこかに重点的に力を入れながら、浜田市の魅力あるまちづくりを、今後も続けていかなければいけないと思います。その一番上位にあるのがこの総合振興計画であります。委員の皆様からいろんなご意見をいただきながら、これからも、浜田市の人口を増やすというのはなかなか難しいので、少しでも減らすスピードを落としていくということに力を入れていかなければいけないと思います。またご意見をしっかりといただき、それを参考にさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。委員の皆様にはご議論いただき、ありがとうございました。予定より早くはございますが、審議すべき内容は、すべて終了しました。以上をもちまして審議会を終了いたします。それでは事務局にお返しをします。</p>
地域政策部長	<p>林会長、ありがとうございました。皆様方におかれましても、議事の審議、進行にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして、本日の審議会を終了とさせていただきます。本日はありがとうございました。</p>